

ビジネスで「未来を築く」あなたに 確かな“スキル”と“パートナー”を

統合報告書の制作ディレクター & 講師を目指すあなたへ

SDGs 実践

統合報告書^{制作}ディレクター養成講座

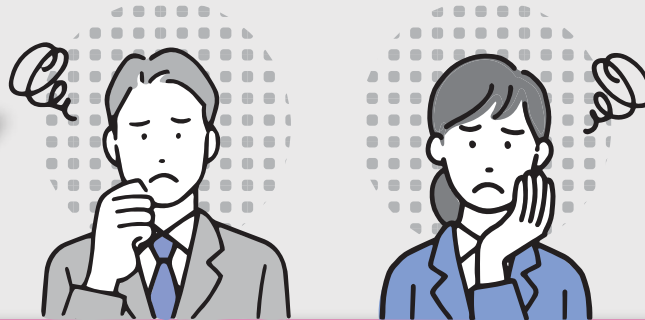
制作の基礎から構築手法 & 表現の仕方までトータルで学ぶ

日本唯一のSDGsビジネス総合スクール

Start SDGs

こんなお困りごとはありませんか？

統合報告書制作の
基礎から
実践までを
習得したい...



自社基準ではなく、
世界標準仕様の
統合報告書を
作成したい...

— よくあるお困りごと・お悩み —

統合 報告書制作における必要知識と実践スキルを
実績豊富な講師陣から伝授してほしい

本講座で目指せること

制作の基礎から構築手法&表現の仕方までトータルで学び

統合報告書の 制作ディレクター&講師に!!



習得内容

1

統合報告書の
基礎知識

2

統合報告書の
具体的な制作手法

3

統合報告書制作に
おける各種留意点



すでに
制作している企業

既存統合報告書のクオリティ
アップ(世界水準の統合報告書)へ



これから
制作する企業

制作体制の確立、スムーズな進行
が可能に



コンサルタント・
制作ディレクター

概論から重要ポイントまで、適確な
アドバイスが可能に

日本におけるSDGs認知拡大前から全国で展開してきた実績

これらは一例で様々な成果が生まれています!!

修了後のみなさん

受講前



担当者になったが、さてどこから手を付けてよいものやら...
そもそも中小企業で統合報告書は必要なのか...
統合報告書ではなく、まずSDGs宣言をしたいのだが...



どこから手を付けてよいのか、迷うことばかり...
財務担当なので、コミュニケーション部分が苦手...
社内各部署の調整方法が分からない...



環境報告書やCSRレポートは慣れているが、財務情報の盛り込み方が...
SDGsの知識を活かして、統合報告書制作に関わりたいのだが...
ガイドラインやマテリアリティに関して、自信も持ってアドバイスしたい...

受講後

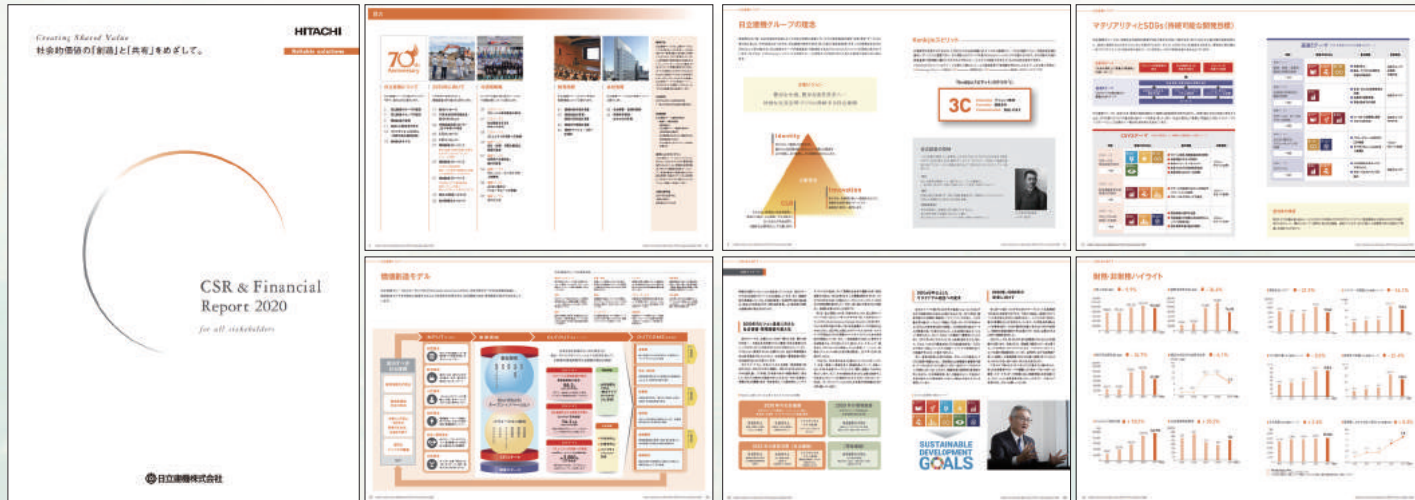
▶ 入門から深い部分まで習得でき、安心して取組みをスタートできた。サプライチェーンにおける、各種コーポレートレポートの重要性と制作ノウハウを理解できた。マテリアリティ特定や価値創造モデルなどが、SDGs宣言にも非常に有用だった。

▶ 基礎から実践までトータルに取得でき、統合報告書制作に自信が持てた。財務とSDGs関連が結びついたバランスの良い、まさに統合された報告書が実現できた。社内各部署の調整ポイントを把握でき、スムーズな制作体制を構築できた。

▶ 最新の統合報告書制作手法を習得でき、仕事に範囲が広がった。SDGsと統合報告書、2つの大きなトレンドを理解できた。ガイドライン理解に加え、マテリアリティによる行動計画立案まで踏み込めた。

なぜ今、統合報告書なのか？

財務と非財務を一貫した戦略に落とし込み、全社的に納得感を持って取り組むベースを作るツールとして役立つ統合報告書。
統合報告書を通じて、経営層から一般社員までの認識を統一し、どのように自社の価値を創造していくのかを共有することが可能。



※講師の制作実績

1

投資家から求められている



投資家も企業が発行した統合報告書を読む必要性に迫られている。企業は、中長期の価値創造の仕組みを投資家に説明する必要が出てきた。

2

中小企業も業績アップに向けて



経営層から一般社員までの認識を統一し、どのように自社の価値を創造していくのかを共有することで業績向上へつなげていく。

3

採用ツールとしても有用



財務・非財務の両方の観点から、企業の強みや経営ビジョンを伝えることで、SDGsに関心が強まる学生達にも訴求する事が可能。

成果を生み出す講座内容

◆統合報告書とはなにか

疑問 これまでのアニュアルレポートやCSRレポートとどう違うの？

Integrated Report → 何が統合されたのか。
統合する → 単なる「並列」ではない。

複数の物事を1つの **まとまった働きをもったもの** にする

財務情報 → 統合レポート ← 非財務情報

◆なんのために発行するのか（本来の意義）

つまり 統合レポートは 企業価値を客観的に比べるためにある

- 好き勝手に自社のPRをすれば良いわけではない。
- 他社と企業の実態を比較できるものでなければならない。
- それには、世界中の企業が参照できる**ガイドライン**が必要。

企業はガイドラインに沿って情報開示し、良い企業への投資が促進される世の中にしましょう

◆統合報告書をつくってみよう

まとめ② **大変だけど、つくる甲斐はある！とにかく始めてみればいい**

言い出しっぱになるのは勇気があること。でも、きっと会社のため、自分自身の成長のためになる。

始めるポイント!

- 社内で手伝ってくれる仲間を探す
- これまでの自社レポート(制作体制・内容)の見直し
- ガイドラインの勉強を開始 (IIRC)
- どんなレポートを作りたいかのイメージを固める
- 主管部門を明確にしてプロジェクトチームで発足
- 良い外部委託業者を探す

統合報告書を発行し、企業価値と自分自身を高めよう

1	統合報告書プロジェクトの発足	6	CEO/CFOメッセージのポイント
2	制作支援・委託会社の選定	7	価値創造モデルの作り方
3	ガイドラインを学ぶ	8	コーポレートガバナンスと取締役会の実効性向上
4	マテリアリティについて	9	データの開示項目とルール
5	具体的なページ構成の作り方	10	統合報告書の振り返り・評価



こんな方にオススメ

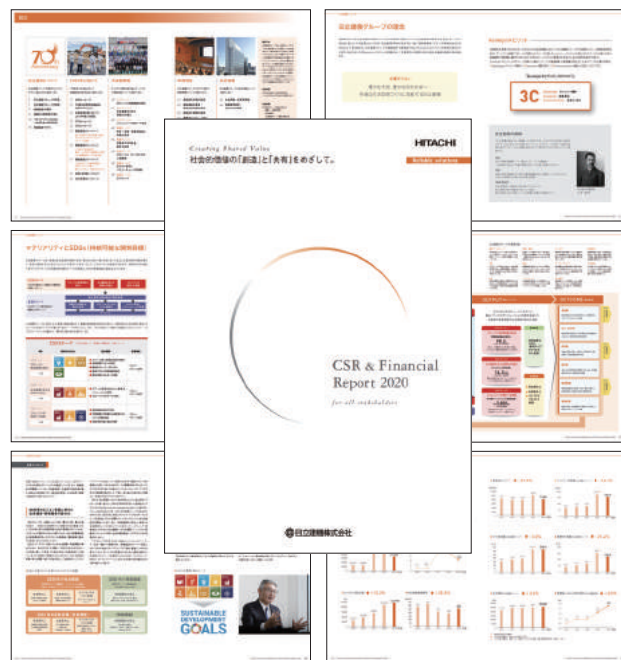
- 統合報告書の制作担当者の方
- 中小企業の経営者で銀行及び投資家対策とともに、
自社ホームページに取り組みを正確に伝えていきたい方
- 広告代理店・制作プロダクションなど今後制作に携わりたい方
- コンサルタント・営業として顧客に新たなサービスを提供したい方
- SDGsに重要な統合報告書の全貌を知り極めたい方



統合報告書 制作ディレクター 養成講座
プログラムについて

講座概要

制作の基礎から構築手法&表現の仕方まで習得した
統合報告書
制作ディレクターに!!



※講師の制作実績

上場企業は東証の市場区分見直しにより投資家へのアプローチとして統合報告書は必須の時代に。その制作の担当者や上場企業をサポートする印刷会社・制作会社・SDGsのコンサルタントは必須の知識・手法となります。

実施

【事前eラーニング】視聴開始月から1年間
【本講座】全2日間 9時～(1日/9h※休憩1h含む)

会場

本講座 講義・ワークショップ:全2日間は東京会場にて対面リアル講座
集い:東京・大阪・金沢・名古屋・京都・神戸・浜松・広島・福岡・札幌・沖縄・仙台
※東京会場は主要駅近場で現在調整中。確定次第お知らせ致します。

受講スタイル 事前eラーニング + 対面リアル講座



対象

経営者、企業担当者、印刷会社・制作会社、SDGs/環境経営関連のコンサルタント

定員

1開催あたり先着15名様まで

特典

1. 間伐材を使った木製SDGsバッジ
2. 講座で使用した講義資料(PDFファイル)
3. 当社オリジナル開発「SDGs実践冊子」1冊

■注意事項

※ご決済から3日以降のキャンセルは、教材の準備・その他調整などにより出来兼ねますので、予めご了承ください。
※動画(映像)の著作権は弊社に帰属します。動画の一部または全部を、無断で複製、転載、改変、配布、販売などを固く禁止します。
※動画再生や視聴には大量のデータ(パケット)通信を行うため、携帯・通信キャリア各社にて通信料が発生します。
データ通信量が一定の基準に達した時点で、通信会社での通信速度制限が行われることがあります。
スマートフォンやタブレットでご視聴の場合は、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。

講師



後藤 卓 (ごとう たかし)

株式会社サステナビリティコミュニケーションハブ 代表
イタリアのファッション業界専門誌「gap」日本版編集を経て、広告代理店、印刷会社にて、プランニング、編集、クリエイティブディレクターを担当。企業広報誌、PR誌等エディトリアル、社内報、広告、企業コミュニケーション等多数の制作に関わる2002年より(株)ゼネラルプレス(現シータス&ゼネラルプレス)移籍。サステナビリティコミュニケーション事業本部長として200社をこえるサステナビリティコミュニケーションを支援。2011年にサステナビリティコミュニケーションハブ設立。GRIゴールドパートナー、サステナブルブランCommunity Voice Partner

【実績】

2003年の日産自動車、セイコーエプソン社を皮切りに、年間50社を超えるコミュニケーションに携わる。味の素、ファーストリテイリング、日本航空など多数



伊澤 美佐子 (いざわ みさこ)

広告代理店勤務を経て、フリーランスライターとして独立。統合レポート、サステナビリティレポートを始め、企業がステークホルダーに向けて発信する記事、Webサイトの企画・編集・執筆。主なジャンルは、IR(株主・投資家向け)、CSR、SDGs、Ecology、CR/CS(顧客満足)、IP(技術・知財)、HR(人材・採用)など

【実績(主に統合レポート)】

住友ベークライトグループ、コーセーグループ、JX金属グループ、大陽日酸グループ、東京建物グループ、共同印刷グループなど

本講座カリキュラム：事前eラーニングの動画講座



スグに学べてスグに使える!!

本募集は

統合報告書
動画講座

+

短期集中2日間
対面リアル講座

のセットとなっておりますが



統合報告書
動画講座

のみのご提供も可能です

※募集人数の制限なし

詳しくはお問い合わせください

事前eラーニング 統合報告書動画講座

★	SDGs基礎講座	SDGs基礎講座、17目標を学ぶ
★	未来情報要約版	SDGs推進・SXに必要な未来情報
①	統合報告書プロジェクトの発足	
②	制作支援・委託会社の選定	
③	ガイドラインを学ぶ ①ガイドラインとは	
④	ガイドラインを学ぶ ②他社レポートを見る	
⑤	マテリアリティとは	
⑥	マテリアリティ特定プロセス	
⑦	マテリアリティの運用戦略への統合とKPI	
⑧	ページ構成の作り方	
⑨	社長メッセージの作り方	
⑩	CFOメッセージの作り方	
⑪	価値創造モデル(プロセス図)の作り方	
⑫	取締役会の実効性向上	
⑬	データの開示項目とルール①社会	
⑭	データの開示項目とルール②環境	

本講座カリキュラム：本講座

主要講座 短期集中 2日間

対面リアル集合講座
最大15名(5×3グループ) 2日間



この研修では、15名限定で、講義、質疑、ワークショップを通じて、**統合報告書制作のディテールにまで入り込み、実技に磨きをかけていきます。**
参加に関しては、上記オンライン講座の事前受講が条件になります。**参加希望日程の前日までに、すべての動画視聴を終えていることを目安にしてください。**

1日目(9時00分～18時00分 ※昼休憩:12時00分～13時00分)	2日目(9時00分～18時00分 ※昼休憩:12時00分～13時00分)
■自社の情報開示を見直す*グループワーク ①自社のこれまでの開示ツールとターゲットをチェック ②どのようなツールがどのステークホルダーに向けて必要か(レポート制作の意義)	■統合報告書プロジェクトの発足*講義と質疑 ①制作体制づくり ②制作支援・委託会社の選定
■ガイドラインを学ぶ*講義と質疑 ①ガイドラインとは ②他社レポートをガイドラインに照らして見る	■ページ構成の作り方*グループワーク ①マテリアリティを踏まえた自社の強みと課題の洗い出し ②自社の強みを強調するページ構成(他社レポートを見る)
■マテリアリティを学ぶ*講義と質疑 ①考え方・特定の仕方(他社の例を見る) ②評価・検証(他社の例を見る)	■具体的な記事制作 *講義と質疑・グループワーク ①素材集めや取材、撮影の方法 ②トップCEOメッセージ(コミットメント)のポイント(ビジョンを示す) ③価値創造モデル(プロセス図)の作り方 *主にグループワーク 財務・非財務資本のインプットと財務・非財務的アウトプット(社会価値)
■マテリアリティを特定する*グループワーク ①すでに行っている自社活動の洗い出し ②目標設定・年度行動計画 ③社会・環境・ガバナンス	■数値データの開示の仕方 *講義と質疑 ①客観的なデータ開示のルール
	■統合報告書の振り返り・評価 *講義と質疑 ①良かった点、悪かった点 ②ESG活動の活性化→次のレポートの素材

※基本、上記の内容となりますが、内容・順番など実際の講習と一部異なる場合がございます。予めご了承ください。

リアル講座 & 交流

本講座は**対面リアル講座**!!

2回目修了後に**懇親会も実施し交流の場**を設けます!!

対面リアル講座の実施



※本講座の画像が無い為、当スクールで以前に実施した際のイメージとなります

東京会場

主要駅近場で
現在調整中

MAP

懇親会で交流の場を (自由参加・別途懇親会費)



※本講座の画像が無い為、当スクールで以前に実施した際のイメージとなります

※**感染防止対策を徹底して実施致します。**

動画講座のサンプルをご覧ください

◆ 統合報告書とはなにか

疑問 これまでのアニュアルレポートやCSRレポートとどう違うの？

Integrated Report → 何が統合されたのか。
統合する → 単なる「並列」ではない。

複数の物事を1つの **まとまった動きをもったもの** にする

財務情報 統合レポート 非財務情報

Start SDGs

※クリックでご覧いただけます

その他セットのカリキュラム特徴「当社ならではの未来情報」

これからのビジネスは



デジタル
トランスフォーメーション



サステナビリティ
トランスフォーメーション



**未来適応
ビジネス**

未来適応ビジネスに関する e ラーニングをご提供

The screenshot shows an e-learning presentation with three main sections:

- 未来を左右する人口の推移 (Future Population Trends):** Compares world and Japanese population projections from 2020 to 2030.

地域	2020年	2030年
世界の人口	77億9500万人	85億4800万人
日本の人口	1億2532万人	1億1912万人

 Additional data: アジア: +3億3300万人, アフリカ: +3億4700万人, 日本: -620万人 (現在の千歳県人口と同じ).
- SDGsビジネスに、なぜ未来情報が必要なのか? (Why Future Information is Needed for SDG Business?):** Lists five key points:
 - 2030年の課題/進化を知る: 現在見えていることに加え、2030年までに顕在化する社会の課題や技術の進化を知る
 - 未来の事実を受け入れる: 自身の楽観的な、或いは悲観的な予測を排除して、2030年に起こりうる事実を受け入れる
 - バックキャストする: 現在を起点にせず、2030年の視点からビジネス構築をスタートさせる
 - 業種や地域を適用させる: 自社の業種/業界、或いは自身の地域へ落とし込む地球規模から半径5mまでリンケージで考える
 - 未来を実装していく: 2030年を取り込んだビジネスを構築、2030年までに古びてしまわない、世界規模のビジネスを
- まとめ: 2030年の課題解決は、2030年のテクノロジーで (Summary: Solving 2030's Challenges with 2030's Technology):** Emphasizes that future information and backcasting are essential for building resilient SDG businesses.
 - 統計情報から今後の人口推移: 2030年の課題、労働人口減少が明確に
 - 人手不足解消は生産性向上が中心: 生産性向上はテクノロジーの活用が決め手
 - 未来を知ると課題がより顕在化: 漠然としていた2030年が、未来情報を知ることによってデータと共に、明確なイメージとして見えてくる
 - フォアキャストでは見えてこない解決策: 例えば、生産性向上は今のテクノロジーだけでは限界、現状手元にある手法では、多くの課題は解決できない
 - 2030年までに達成されるテクノロジーの成果を活用: 2030年までのテクノロジーの進化を知ることによって、具体的な解決策が見え、ビジネスの「種」も見つかる

終了後の皆様に

認定証と認定ロゴマークを贈呈



※素材は環境に配慮した“バナナペーパー”仕様

WEB サイトやパンフレット、
名刺に肩書きとロゴマークを記載し
活動する事が可能です



※名刺デザインは一例です。

講座以外に特別セミナーや「集い」



1 特別ゲストのセミナーの開催 【当社経産省後援】

SDGs をビジネスで実践されている第一人者をはじめ、修了生で実践にて成果を出された事例をお話いただいたり、各大手企業（定期的には全国自治体と強いパイプをもつアクサ生命など）とのコラボセミナーも開催しております。

また、当社を後援いただいている経済産業省の方にご講演いただく事もございます。

2 集合して交流イベント

毎月1回に地区ごと、年1~2回全国で開催。第1期からこれまでの全参加者が集合し、交流とともにフィードバック・相談会・ワークショップなどを行います。

(コロナの影響によりオンライン対応になりましたも、次期以降にも地区集合にご参加いただけます)



“全国12箇所” 開催は当社だけ



受講スケジュール

第1期:2021年11月9日(火)・10日(水)9時～ (1日/9h※休憩1h含む)

第2期:2022年1月18日(火)・19日(水)9時～ (1日/9h※休憩1h含む)

※申込期限は、基本的に開催日1週間前となります。

※事前にeラーニングを受講いただきます。

eラーニングのみの受講も可能です。申込フォームでお選びください。

11月 November 2021						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9 【1期】 ①	10 【1期】 ②	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	27	28	29	30	

1月 January 2022						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 【2期】 ①	19 【2期】 ②	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

特典

参加特典

実践活動をサポートするツールセット **無償提供**

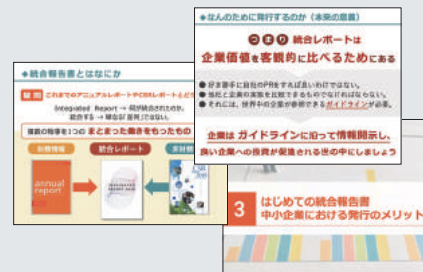
特典1

間伐材を使った
木製 SDGs バッジ



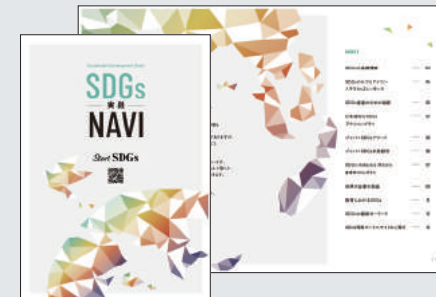
特典2

当講座で使用した
講義資料
(PDF ファイル)



特典3

当社オリジナル開発
「SDGs 実践冊子」
1冊



※修了時にご提供いたします

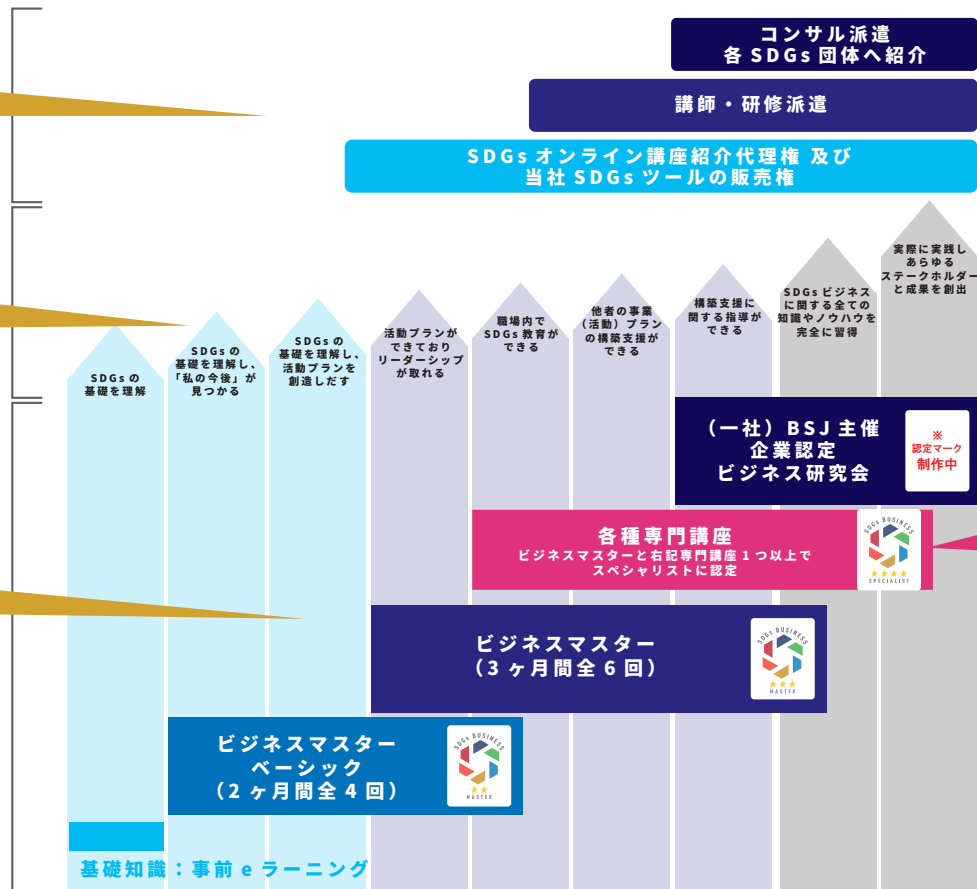
認定資格のご説明

認定資格者には当スクールから**案件紹介・ツール販売代理制度**をご用意

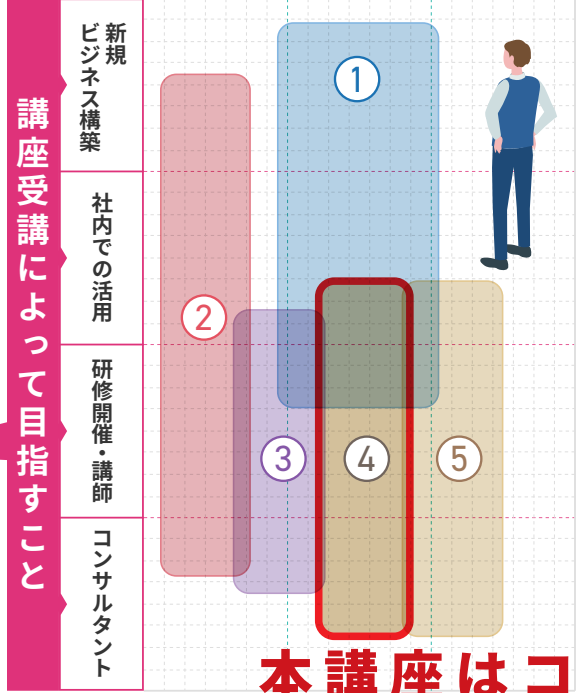
認定資格後のご支援内容

育成プログラム受講後の姿

育成プログラム概要



SDGsやSXについて
あまり詳しくない > 理解している > よく理解している



- ① 地域創生スペシャリスト認定講座
- ② SDGsビジネスアイデア創出コンサルタント認定講座
- ③ ジェンダー実践コンサルタント養成講座
- ④ 統合報告書制作ディレクター養成講座
- ⑤ CSV経営デザイナー養成講座



次世代の担い手である若者達へ
大人達が持続可能な社会を繋ぐ

当スクールプログラム資格認定機関のご紹介



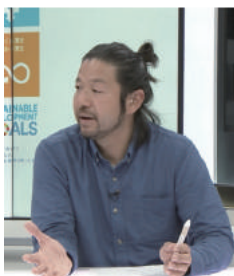
非営利型一般社団法人

Beyond SDGs Japan

理事・顧問のご紹介

SDGs ビジネスの第一人者で構成

代表理事
[SDGs ビジネス実践担当]



阪口 竜也 氏

フロムファースト株式会社 代表取締役
SDGs ビジネスアワード大賞受賞
経済産業省 BOP ビジネス推進事業有識者メンバー
石川県白山市 SDGs アドバイザリーボード委員

理事
[教育者担当]



平本 督太郎 氏

金沢工業大学
経営情報学科・SDGs 推進センター長
第1回内閣ジャパン SDGs アワード 内閣官房長官賞受賞

理事
[交渉担当]



島田 久仁彦 氏

株式会社 KS International Strategies 代表取締役
元国際連合紛争調停官・交渉プロフェッショナル
経済産業省参事

理事
[ジェンダー対策担当]



渡邊 さやか 氏

一般社団法人 re:terra 代表理事・株式会社 re:terra 代表取締役
プロボノとして米国 NPO 法人コペルニクの日本支部立ち上げ参画
現在、女性起業家支援・社会起業家支援に従事

理事
[社団法人全体運営担当]



黒岩 賢太郎 氏

株式会社グローバルイノベーションズ 代表取締役
SDGs ビジネススクール [StartSDGs] 運営

特別顧問



伊東 正行 氏

元三菱フィナンシャルグループ / 三菱 UFJ 銀行 CSR 推進部長
当時の頭取の秘書役も務めた経歴を持つ

活動事項



1 若者（児童・生徒・学生）と社会を繋ぐ学会やイベントの開催

2 SDGsに関するプラットフォームの啓発・普及活動

3 SDGsビジネス検定の実施及び資格認定

4 中小企業を中心としたSDGsビジネス実践評価基準策定

5 機関紙・図書・資料などSDGsに関する各種出版物の発行

6 所属会員同士の会員交流会の開催

Beyond SDGsイノベーション学会

領域横断型の「Beyond SDGs イノベーション学会（Academy of innovation for Beyond SDGs : AIBS）」が発足



AIBS 学会長

金沢工業大学
経営情報学科・SDGs推進センター長

平本 督太郎 氏

AIBSはオンラインで運営され、若手・中堅の研究者・実務家を運営の中核とした学会です。「教育・働き方」、「ビジネス」、「地域／空間の計画／マネジメント」、「テクノロジー」といった研究の重点領域を設定するとともに、領域横断の研究を推奨します。そして、それにより、これまでトレードオフが発生することで最適解が見いだせなかった地球規模課題の解決の実現を目指します。

理事には、金沢工業大学の研究者以外にも、国内他大学の研究者、海外大学の研究者はもちろんのこと、国連・国際機関の関係者、日本政府関係者、大手シンクタンクのコンサルタント・研究員が参画し、既に多様な価値観が内包された推進体制が構築されています。



お申し込み・お支払いについて

受講参加金額・資金使徒

料金

動画講座
+
短期集中 2 日間：合計 18 時間
30 万円 (税抜き)

ご友人・所属企業の同僚などのお仲間を
ご紹介いただきその方がお申込み下さると

20% キャッシュ
バック



【資金使徒】

- 講師人件費
- 運営者人件費
- 教室会場費
- 教材制作費 (動画・e-ラーニングシステム)
- 欠席者フォロー含めた毎回の録画・編集費
- 広告出稿費
- 備品購入費
- 次世代の学生・子ども達の育成支援費
- 皆様にご利用いただくオンライン lab 開発投資費
- 人財マッチングプラットフォーム開発投資費

等

or

料金

動画講座のみ
5 万円 (税抜き)

ご友人・所属企業の同僚などのお仲間を
ご紹介いただきその方がお申込み下さると

20% キャッシュ
バック



【資金使徒】

- 講師人件費
- 運営者人件費
- 教材制作費 (動画・e-ラーニングシステム)
- 広告出稿費
- 次世代の学生・子ども達の育成支援費
- 皆様にご利用いただくオンライン lab 開発投資費

等

お申込の流れ

【お申込フォーム】

※本資料送付のメールに記してございますが、こちらからも入れます

www.startsdgs.com/c16-form/

The screenshot shows a registration form for a course titled "SDGs実践 統合報告書制作ディレクター養成講座". The form includes fields for name (姓, 名), company name (フリガナ), and address (郵便番号, 住所). There are also buttons for "StartSDGs受講規約を表示" and "CSV経営デザイナー養成講座 講義概要を表示".

お申込みいただいた後

以下 **3 パターン**のお支払い方法がございます

1. お振込後に領収書発行



2. ご請求書発行後にお振込



3. クレジット決済（分割も可）



お支払い [分割決済可能]

一括決済のみ → クレジット分割決済可能に

お支払い方法選択

Start SDGs

ご利用内容をご確認ください。
支払い方法を選択のうえ、お支払い手続きを行ってください。

ご利用内容	
ご利用店舗	StartSDGs
取引ID	20200826082932907
商品合計金額	¥10-
お支払い金額合計	¥10-

クレジットカード決済

クレジットカードで支払う

以下のマークがあるクレジットカードでお支払い頂けます。

カード番号入力 
例: 1111222233334444

セキュリティコード入力 セキュリティコードとは?
カード裏面サイン欄の右上、もしくは表面に記載されている3桁（ないし4桁）の数字です。

[セキュリティコードの詳細を表示](#)

カード有効期限
カードの表記のとおりご指定ください。
カード有効期限は通常「月/年(西暦下2桁)」でカードに刻印されています。

カード名義
例: 「TARO YAMADA」のようにカードの表示どおり入力してください。

お支払い回数

当カード決済ではSSLという暗号化技術を利用しております。カード番号は暗号化されて直接カード会社に送信されますのでご安心ください。
・クレジットカード番号がご利用店舗に渡ることはありません。
・クレジットカード利用控えは発行しておりません。カード会社から送付されるご利用明細をご確認ください。
・ご利用者様と異なる名義のクレジットカードのご利用はできません。

[確認画面へ進む](#)



分割可能回数

3回・5回・6回・10回・12回
15回・18回・20回・24回

※分割時の毎月のお支払い金額についてはあなた様とカード会社での契約になります。ご利用のカード会社にご確認頂きますようお願い申し上げます。



あなたの行動が世界を変える